



篠栗町リハビリテーション専門職学習会

篠栗町の主催のもと、地域のセラピストたちが集まり、今後の地域のリハビリの活性化と病院間の情報共有・交換を目的に年に3～4回程度実施しています。今回は、『～地域リハビリテーション活動支援事業とは～』というテーマで西九州大学のリハビリテーション学科長の



大田尾教授



篠栗町が行なっている介護予防事業に参加しているので、今回の講演をそちらに活かしていこうと思います！

P T 古賀



実習生 やってきました



先生方の患者さんへの接し方や考え方について沢山学ぶことが出来ました。3週間沢山のことを学ばせて頂き本当にありがとうございました！！



永井

生澤

柳川リハビリテーション学院より実習生が来ました！！
言語聴覚学科「宮川 葉和（かな）」さんです
指導者として、生澤先生と永井先生が熱心に担当しました。

リハビリ部内勉強会

リハビリでは、毎月第4週目の火曜日に部内勉強会を開催しています。

令和2年初めは「腰痛チーム」の発表でした。

今回、腰痛チームは、「腰痛の概要」と「外来患者様を対象に作成した評価表」を紹介しました。腰痛には、診察や検査で原因を特定できる腰痛と器質的な異常が明らかでない腰痛があります。腰痛全体の85%が原因が分からない腰痛です。原因が明らかになっている腰痛では、主に病変部分に着目しながらリハビリを行います。

しかし、慢性的な痛みがある方は痛かった時の記憶や感情により、痛みに対する恐怖感や不安感が強くなりやすいです。そのため、病変部位に着目すると共に、精神的ケアを行いながら痛みの認識を改善し、リハビリを提供します。

『評価表』は、痛みの頻度やどんな時に痛みを感じるかなどを聞き取り・チェック形式で記述をしてもらいます。

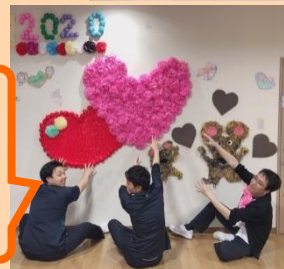


阿部 徳田、中原、古賀

お正月 作品紹介

1月のねずみの壁飾りも無事に完成しました！！

今月の作品は「バレンタイン」をテーマに作りました。バレンタインは、世界各地でカップルの愛の誓いの日とされています。日本では1970年代から女性から男性へチョコレートを送るようになったそうです。リハビリ室もハートがいっぱいの空間でしあわせな気持ちになれそうです。若い頃を思い出して、患者様の恋の話に盛り上がりたいと思います。



リハビリ 愛